

令和 8 年 度

高規格救急自動車及び高度救命処置用資器材整備事業

山鹿消防署東分署 高規格救急自動車

仕 様 書

山鹿市消防本部

## 目次

第1 総則

第2 提出書類

第3 車両規格及び車両・車内装備

第4 塗装・車体標識等

第5 消防救急デジタル無線機及びAVM並びに携帯電話

第6 救急用積載品及び車両用付属品

第7 その他

## 第1 総 則

- 1 本仕様書は、山鹿市消防本部（以下「消防本部」という。）が、令和8年度に実施し、山鹿消防署東分署に配備する高規格救急自動車及び高度救命処置用資器材整備事業の、高規格救急自動車（以下「救急車」という。）の車両及び艤装の仕様について定める。
- 2 救急車の規格は、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年4月1日付け消防消第49号）に準ずるほか、救急業務実施基準（昭和39年3月3日付け自消甲教発第6号）並びに道路運送車両法（昭和26年法律第185号）の保安基準等の関係法令に適合するとともに、緊急自動車として承認が得られるものでなければならない。
- 3 検査は、中間検査及び完成検査とする。中間検査は書類審査とし完成検査は消防本部が指定する場所とする。
- 4 納期は、令和9年3月31日（水）までとし、納入場所は山鹿消防署東分署とする。
- 5 保証期間は、装備品については1年間とし、車両についてはメーカーの定める期間とする。
- 6 車両の新規登録に要する費用は受注者の負担とする。但し、自動車重量税及び自動車損害賠償責任保険、リサイクル料金は消防本部の負担とする。また、更新対象車両については、山鹿消防署予備車とするための手続き等を行うこととし、受注者が負担するものとする。
- 7 現予備車である中央救急3号車（熊本800す8686）は、当消防本部の名称表示及び対空表示は完全に消去し、無線機器等の移設後に生じた穴等は完全に塞ぐものとする。
- 8 不当介入に対する措置  
暴力団等又は暴力団関係者から不当介入を受けたときは、次に掲げる事項を行うこと。なお、後述の行為を怠っていることが確認されたときは、指名停止等の措置を行う。
  - (1) 不当介入を受けた場合は、速やかに警察に通報するとともに捜査上必要な協力をを行うこと。
  - (2) 警察に通報等を行った内容について、書面により速やかに発注者に報告すること。また、不当介入を受けたことにより、工程に遅れが生じるおそれがある場合は発注者と協議を行うこと。

## 第2 提出書類

- 1 救急車の製作に先立ち次の図書を各2部提出し、消防本部の承認を得ること。
  - (1) 車両主要諸元表及び価格内訳表
  - (2) 作業工程表及び製作概要図
  - (3) 艤装五面図
  - (4) 装備品取付け図
  - (5) 電気配線図
  - (6) その他指示するもの
- 2 納車、検収時に次の書類を提出すること。
  - (1) 最終艤装五面図(2部)
  - (2) 車両等取扱説明書
  - (3) 各主要取付け品及び付属品の一覧表(製造会社、住所、電話番号、カタログ)
  - (4) 改造自動車届出書及び自動車検査証(写)
  - (5) 完成車写真(製造工程時に日付入り写真を撮影し、電子媒体化したもの)
  - (6) その他指示するもの

## 第3 車両規格及び車両・車内装備

- 1 車両規格
  - (1) 車両定員 7名以上
  - (2) 車両構造は、本仕様書よりメーカーの標準自動車を一部改造及び艤装するもので、その構造は、振動、衝撃等を十分緩衝できるボディとし、あらゆる走行条件に対して安全、かつ、安定性をもつものであること。
  - (3) 運転席から患者室へ容易に往来できる構造であること。
  - (4) すべての座席に、シートベルトが設置されていること。
  - (5) 車両の主要諸元は、次のとおりとする。

ア エンジン	ガソリンエンジン
イ 総排気量	2,488cc以上
ウ 最高出力	147kw(ps) / rpm 以上
エ 駆動方式	四輪駆動方式(切替え式可)
オ 変速装置	電子制御6速AT車以上
カ タイヤ	ラジアルタイヤ
キ ステアリング	パワーステアリング
ク 最小回転半径	6.1m以下
ケ オルタネーター	150A以上
コ サスペンション	救急車専用サスペンションを設けること。
サ 制御方式	ABS方式

## シ 車両寸法

全 長	5, 330mm～5, 600mm
全 幅	1, 800mm～1, 900mm
全 高	2, 480mm～2, 510mm
ホイールベース	3, 110mm以下
トレッド前	1, 635mm～1, 665mm
トレッド後	1, 635mm～1, 660mm

## ス 患者室寸法

室内長	3, 320mm以上
室内幅	1, 660mm以上
室内高	1, 850mm以上

## 2 車両・車内装備

### (1) 車体装備

- ア 重量軽減を行い、積載品等を搭載したときの前後、左右の荷重バランスを考慮すること。
- イ 車体は全有蓋で、密閉式構造であること。
- ウ 外板は主として鋼板とし、主要部の継目は溶接とすること。
- エ 全般にわたり、防錆、防水処置を施すこと。
- オ 緩衝装置は、資器材を用いた業務の遂行にあたり十分な性能を有すること。
- カ フロントグリル中央に直径150mmの消防章を取り付けること。
- キ 車体後部には、ストレッチャーによる搬入が容易に行われる構造であること。
- ク リヤドア及びサイドドアには、オートクローザーを取り付けること。また、リヤドアには非常時に解除できる構造とすること。
- ケ 牽引フックをフロントバンパー下部に堅固に取り付けること。
- コ フロントアンダーミラーを設置すること。
- サ 助手席から車両左後方を確認できるミラーを設けること。
- シ 患者室の窓は、くもりフィルム貼りを使用し、左スライドドアの窓の上の一部をプライバシーガラス又は同等品以上の処理を施すこと。
- ス リヤドアからの担架及び患者の乗降用として、バックステップ（アルミ縞板製）をフレームに確実に、かつ、堅固に取り付け、リヤバンパー損傷防止板（アルミ製）及びすべり止めの処置を行うこと。
- セ フロントステップ及びサイドステップはアルミ縞板のステップとし、すべり止めの処置を行うこと。
- ソ リヤドアは、悪天候及び緊急処置にも対処し得るよう跳ね上げ式とすること。
- タ マッドガード（泥よけ）を全車輪に取り付けること。
- チ 各ドアの施錠は、運転席からの集中ロック式とすること。
- ツ バール、万能斧、ガラスカッター及びシートベルトカッター等のレスキュー

- セット（５点セット）を車体側面の収納ボックスに設置すること。
  - テ 車体の有効な場所に、アースボンディング（雑音防止装置）を取付けること。
  - ト 前照灯及びスモールライト球は、LEDヘッドランプ又は同等品を装備すること。
  - ナ 路肩灯（LED）を取付けること。（スモールランプ連動）
  - ニ サイドフラッシャーランプを設けること。
  - ヌ フロントにコーナーセンサーを設けること。
  - ネ 患者室の左側面窓全体にカーテンを設け、バックドアに電動カーテンを設けること。
  - ノ リヤドアに、搬入及び搬出作業用としてスポットライト（連動及びスイッチ付き）を設けること。
  - ハ 現場作業灯を設けること。
    - （ア）ルーフ左右両側に各２灯、バックドアに１灯、合計５灯のLED作業灯を設けること。
    - （イ）シフトがPレンジ時、又はサイドブレーキを引いた状態でスイッチが作動すること。（法規上走行時の点灯は違反行為となるため）
    - （ウ）左右後部選択スイッチを設けること。
    - （エ）消費電力を考慮して、点灯に連動したアイドルアップ装置を設け、バッテリーの電圧低下を防止すること。
  - ヒ フォグランプは、LED又は同等品（ヘッドライト一体型を含む）を２個取付けること。
  - フ 運転室の左右ドアにサイドバイザーを取付けること。
- （２）警光灯・サイレン
- ア フロントバンパー部に５０W以上スピーカー２個及び後部ルーフサイドに流線型点滅警光灯（左右LED各１個）を設け、スイッチはコントロールボックスに設けること。
  - イ 警光灯は、ルーフ一体埋込型（自動発光パターン変更機能付き）とする。
  - ウ 車両前部のバンパー付近に赤色警光灯（LED）を２個取付けること。
  - エ 左右側面の後部に補助赤色警告灯（LED）を１個ずつ計２個取付けること。
  - オ バックドア付近に補助赤色警告灯（LED）を取付けること。
  - カ 電子サイレンアンプは、「救急自動車に備えるサイレンの音色の変更について」（昭和４５年６月１０日付け消防防第３３７号通知）に適合するものとし、スピーカー５０W以上２個を接続すること。なお、ハーモニックサウンド及びフェードインアウト機能付きとすること。
  - キ 補助サイレンを設けること。
  - ク 補助サイレン用のスイッチを、助手席及び運転席の手元等に２個以上増設すること。

ケ 電子サイレンユニット、散光式赤色警光灯及びその他各電装品のスイッチ類は、運転席及び助手席から容易に操作できるように、インストルメントパネル付近に集中して配置すること。

コ 電装品のヒューズ等は一括して設け（特装ヒューズボックス）、表示すること。

### (3) 運転室設備

ア カーナビゲーションシステム（全周囲型モニター、ETC連動）を取付けること。また、バックガイドモニター付きとし、テレビが視聴できない仕様とすること。

イ 運転席と助手席の間に地図入れ収納ボックスを設けること。（AVMモニター一台含む）AVMモニター用台は、AVMディスプレイと消防救急デジタル無線機及び無線受話器を取付けることができるもの。

ウ 運転席用フレキシブルマイク（スイッチ付き）を、運転席ドア上部に操作に支障のないよう設けること。

エ 車両の右左折及び後退等を警報音及び音声で警告する音声合成装置を取付けること。なお、解除スイッチを運転席に設けること。

オ 運転席及び助手席にマップランプ（LED）を設けること。

カ ETCを装備すること。（セットアップ含む）

キ ドライブレコーダーを装備すること。（セットアップ含む）

ク 運転室上部に書類入れを設けること。

ケ 運転室にスローバッグを設置すること。

コ ドア開放警告ブザーを設けること。

サ 運転室の助手席から患者室内を確認できるミラーを設けること。

シ 運転室内の使用に適した位置にC型バネ付フックを適当数設けること。

ス バックミラーは、デジタルのバックミラーを設けること。

### (4) 収納関係

各資器材収納庫の形状及び配置については、消防本部が指示する。一般事項は次のとおりとする。

ア 患者室にティッシュ及びグローブボックスの固定ベルトを消防本部との協議の上設けること。

イ 助手席後部に胸骨圧迫デバイスを収納できる収納庫を取付けること。

ウ 患者室の有効な位置に、足踏み式汚物入れを設けること。

エ 患者室の左右ルーフサイドに収納庫を設け、右後部ルーフサイドは施錠付収納庫とする。

オ 患者室の右側後方に大型の収納庫を設け、上段の収納庫は処置トレイとして使用できるものとする。

カ 患者室の右側前方に3段収納庫を取付けること。

- キ 患者室右側に患者回路等収納庫を取り付けること。
- ク 救急医療資機材を有効に収納できる引出しボックスを設けること。なお、棚、ボックスは堅牢でかつ緩衝付内張りの加工処置を施すこと。
- ケ メディカルシート付近に書類収納庫を設けること。
- コ 患者室の天井部左右に、収納ネットを2箇所以上設けること。

#### (5) 患者室設備

- ア 患者室の床には、水洗いに耐える防水防錆加工処理を施すこと。
- イ 患者室の左スライドドア後部付近とバックドア開口部左側付近に乗降用のグリップを設けること。
- ウ 患者ベッドの頭部側にメディカルシート（救急処置用の座席）を有すること。
- エ 患者室の天井部に換気扇フィルター（交換式）を設けること。
- オ 患者室の有効な位置に、点滴フック（収納式）を2箇所以上設けること。
- カ 患者室の見やすい位置に、デジタル時計（電波式）を設けること。
- キ 患者室の使用に適した位置に自動体外式除細動器、傷病者監視装置及び人工呼吸器のブラケットを設けること。
- ク 患者室の使用に適した位置に、本体脱着式のホワイトボードを設けること。
- ケ 患者室の使用に適した位置に、C型バネ付フックを適当数設けること。
- コ 車両の適した位置に、消火器を設置すること。（取り付け金具含む）
- サ 患者室の天井に調整機能付室内灯（LED）を4箇所以上設けること。
- シ 隊員席上部に隊員用スポットライトを設けること。
- ス 患者室の有効な位置に、ペーパータオルホルダーを設けること。

#### (6) 搬送用装備

- ア 防振架台は、加速度等により生ずる揺れを十分吸収できる緩衝装置を有するものであり、左右にスライドできるものであること。
- イ 防振架台は、胸骨圧迫等の処置のため任意の位置でロックできる機構を有すること。
- ウ 防振架台上にメインストレッチャーを収納し、走行中に振動や移動を生じないワンタッチ式の固定装置を設けること。
- エ メインストレッチャーは、ガートル架台付きとする。
- オ サブストレッチャー（スクープストレッチャー含む）は、患者室の有効な位置に収納できる装置を有すること。
- カ 患者室の有効な位置に、バックボード収納装置を有すること。

#### (7) 気道確保用装備

- ア 吸引器固定用ブラケットを設けること。
- イ 予備吸引カテーテルを収納及び使用中吸引カテーテルを保持する設備を設けること。（取付け位置は協議）

ウ 人工呼吸器（マスク大小含む）及び経口エアウェイ（大、小各2個）を付属すること。

(8) 酸素吸入装置等・酸素ボンベ

ア 酸素ボンベ固定装置は、有効な位置に設け、10リットル型アルミボンベ2本を脱着できる構造とし、酸素ボンベを2本付属すること。

イ 酸素の配管は、天井及び側板に埋設し、酸素マスク2個以上を収納できるコンソール等を設けること。

ウ 二連式加湿酸素流量計は、オキシパック・OX-ⅢS型又は同等品とし、患者室の有効な位置に設けること。

エ 2リットル型アルミ酸素ボンベを2本付属すること。（減圧弁含む）

(9) 電装品（車両）

ア 防水対策を施した外部コンセント（AC100V）を運転席側に設け、接続コード10m以上（プラグ付）を付属すること。また、外部電源入力中はエンジンスタートできないスターターカット機能付きとすること。なお、自動充電器を設置すること。

イ バッテリー及びオルタネーターは、救急資器材及び各種電装品に必要な電気容量を十分に確保し、供給し得るものであること。

ウ バッテリー収納部は、容易に点検及び整備ができる構造とすること。

エ エアコンは、運転席及び患者室共にメーカー純正のエアコンとすること。

オ 暖房装置は、運転室用のほか、温風ヒーターを患者室に設けること。

カ DC-ACインバーターを設けること。

キ 患者室内に、交流100V出力コンセント（ダブル）、DC12V出力コンセント及び同シガーライター型コンセントを使用に適した位置にそれぞれ2箇所以上設けること。（銘板表示）

#### 第4 塗装・車体標識等

1 塗色はボディを白色とし、ボディーラインを朱色の蛍光色で再帰性に富んだ反射シート（ライン幅70～80mm）とし、リヤドア部分も朱色の蛍光色で再帰性に富んだ反射シートとすること。（フロント部は再帰性に富んだ反射シートではなく通常の朱色シートとする）

2 車両後部側面及びリヤドアに、次に掲げる文字を記入すること。

(1) 記入文字

ア 車両後部側面 山鹿市消防本部 東分署

イ リヤドア中央部 山鹿市消防本部

ウ リヤドア左下部 東分署

(2) 文字の色 紺色

(3) 字体 丸ゴシック体

(4) 施工 カッティングシート

- 3 救急シンボルマーク・スターオブライブを車両前部両側面ドア及びバックドアに標示すること。色は紺色とすること。
- 4 車両上部に、別途協議のうえ対空標示「山A5」を標記すること。
- 5 車両前面に、「山A5」と標示すること。
- 6 別途協議のうえ、現在の東救急1号車に対空表示「山A3」、車両前面に「山A3」と表示すること。車両後部側面の「東分署」、リヤドア左下部の「東分署」は完全に消去すること。表示変更手数料は、受注者負担とする。
- 7 納入後1年以内に塗装部の剥離、亀裂が生じた場合は、再塗装すること。なお、その他詳細については別途協議すること。

## 第5 消防救急デジタル無線機及びAVM並びに携帯電話

### 1 消防救急デジタル無線機

- (1) 東救急1号車については、消防救急デジタル無線機を現行の東救急1号車から移設すること。
- (2) 現行の東救急1号車については、消防救急デジタル無線機を現行の中央救急3号車から移設すること。
- (3) 無線機用スピーカーは、運転室のAVM付近に1箇所、患者室に1箇所を至便な位置に取付け、患者室のスピーカーについては埋め込みとし至便な位置にオン・オフ及び音量調整スイッチを取付けること。なお、音量調整スイッチについては原則として取り付けることとするが、設置が困難な場合はオン・オフスイッチのみを可とする。
- (4) デジタル無線アンテナ用のマウントをルーフ上の2箇所に取付けること。また、取付け位置は消防本部と協議すること。
- (5) 移設業者は、消防本部が指定する業者とする。

### 2 消防救急デジタル無線機配線工事

配線工事は次に掲げるものとし、消防本部が指定する業者と綿密に打ち合わせ、プリカチューブに通し配線すること。

- (1) バッテリーから消防救急デジタル無線機用メインスイッチ、消防救急デジタル無線機用電源端子を介し消防救急デジタル無線機本体設置位置まで。
- (2) 消防救急デジタル無線機本体設置位置からアンテナ取付けベースまで。
- (3) 消防救急デジタル無線機本体から運転室の送受信器及びスピーカーと患者室の送受信器及びスピーカーまで。
- (4) 消防救急デジタル無線配線ケーブルは業者指定のケーブルを使用し、ノイズの発生することのないように処置すること。
- (5) アンテナ取付け部のアースを確実にとること。
- (6) アンテナ取付け部のベース位置の室内天井に点検口を設けること。

### 3 車両運用端末装置 (AVM)

- (1) 東救急1号車については、AVMを現行の東救急1号車から移設すること。
- (2) 現行の東救急1号車については、AVMを現行の中央救急3号車から移設すること。
- (3) 移設業者は、消防本部が指定する業者とする。

#### 4 車両運用端末装置（AVM）配線工事

配線工事は消防本部が指定する業者と綿密に打ち合わせ、プリカチューブに通し配線すること。

#### 5 携帯電話（スマートフォン）

携帯電話本体は新品とし、携帯電話及び携帯電話専用充電器の取付けを行うこと。

#### 6 その他

- (1) 消防救急デジタル無線及びAVMの取付け位置は運転室中央のAVMモニター用台に取付けること。
- (2) エンジンルーム点検とエアコン操作時に支障にならないように取付けること。
- (3) 消防救急デジタル無線機及びAVM移設に関わる全ての費用は受注者負担とする。

### 第6 救急用積載品及び車両用付属品

- 1 高度救命資器材等を、協議により車内に搭載するものとする。
- 2 取り付け及び積載については、堅牢で震動に十分耐える構造とすること。
- 3 車両用付属品一覧  
標準工具、スペアタイヤ（装備品と同等品）、スタッドレスタイヤ4本（ホイール付属）、樹脂製タイヤチェーン、けん引用布製ロープ、停止表示板、フロアーマット、車輪止め、愛車セット、予備ヒューズ、補修用ペン、デジタルカメラ、携帯サーチライト2個（乾電池式）、体温計、車載用プラズマクラスターイオン発生装置、オゾン発生器・消毒器、自動車用テスター（デジタル）

### 第7 その他

- 1 受注者が示した標準取付け品及び付属品はすべて納入するものとする。ただし、この仕様書で指定したものと重複するものは除くことができる。
- 2 取付け品及び付属品等は別表のとおりとする。

## 別表

## 取付け品及び付属品等一覧

## 1 車体装備

品名	規格等	数量	備考
消防章	150mm	1個	
オートクローザー		1式	
牽引フック		1個	
フロントアンダーミラー	標準仕様	1式	
助手席ミラー	左後方確認用	1個	
患者室窓	全面 プライバシーフィルム又は プライバシーガラス	1式	
リヤステップ	アルミ縞板製	1式	すべり止め含む
フロントステップ及び サイドステップ	アルミ縞板製	1式	すべり止め含む
マッドガード		全車輪	
キーレスエントリー	集中ロック式	1式	
レスキューセット (5点セット)		1式	
アースボンディング		1式	
ヘッドランプ	LED又は同等品	1式	
路肩灯(LED)	左右	1式	
サイドフラッシャーランプ		1式	
フロントコーナーセンサー		1式	
左側面窓全体、バック ドア(電動式)カーテン		1式	
リヤドアスポットライト	ドア連動及びスイッチ付き 患者灯兼用	1式	
現場作業灯(LED)	左右側面部各2灯、バック ドア部1灯	5個	大阪サイレン製
フォグランプ	左右LED又は同等品	1式	
サイドバイザー	運転室両サイド	1式	

## 2 警光灯・サイレン

品名	規格等	数量	備考
赤色警光灯	アクティビーコンまたは同等品 ルーフ前、後部、フロントバンパー部 LED警光灯	1式	自動発光パターン変更機能付き
補助赤色警光灯	大阪サイレン製または同等品 左右側面の後部、バックドア部 LED警光灯	1式	
電子サイレン	大阪サイレン製または同等品 アンプ、スピーカー、マイク 拡声器付 ピーポー・ウー2音式 ハーモニックサウンド及び フェードインアウト機能付 消防広報メッセージ	1式	メッセージ内容については消防本部と協議すること
電子サイレン以外のサイレン	補助サイレン	1式	

## 3 運転室設備

品名	規格等	数量	備考
カーナビゲーションシステム	メーカー標準 TVチューナーレス機能付き	1式	取付け含む
全周囲型モニター	メーカー標準	1式	
地図入れ収納ボックス	運転席中央部 A3、蓋無し	1式	AVM用モニター台含む
フレキシブルマイク	運転席	1式	
音声合成装置	解除装置付き	1式	
マップランプ	フレキシブル式(LED)	1式	運転席、助手席
ETC	内蔵型	1式	取付け及びセットアップ含む
ドライブレコーダー	運転に支障のない位置	1式	取付け含む、SDカード付
運転室書類入れ	天井上部ネット式	2箇所	

スローバッグ	スローラインバックセット	1 個	
ドア開放警告ブザー		1 式	
患者室確認ミラー	運転室内	1 個	
運転室 C 型バネ付フック	運転室内	1 式	

#### 4 収納関係

品名	規格等	数量	備考
ティッシュ、グローブ ボックス固定ベルト		1 式	
自動心臓マッサージ器 収納庫		1 式	
足踏み式汚物入れ		1 式	
患者室救急資器材収納 庫		1 式	
患者室書類収納庫		1 式	
患者室天井部収納 ネット	左右 2 箇所	1 式	

#### 5 患者室設備

品名	規格等	数量	備考
アシストグリップ	標準仕様	1 式	
メディカルシート	標準仕様	1 式	
換気扇フィルター	標準仕様	1 式	
点滴フック（収納式）	天井部 2 箇所	1 式	
デジタル時計	電波時計	1 個	
各種ブラケット	積載備品用フル装備	1 式	取付け金具含む
ホワイトボード（マグ ネット式）		1 個	本体脱着式
患者室 C 型バネ付フック		1 式	
消火器	標準型（自動車用 A B C 4 型以上）	1 式	取付け金具含む
室内灯（LED）	調光機能付き 4 灯以上	1 式	
隊員用スポットライト	LED ライト	1 個	
ペーパータオルホルダー		1 個	

#### 6 搬送用装備

品名	規格等	数量	備考
防振架台	空気式防振架台	1 式	左右スライド機能、 搬入ガイド付き
メインストレッチャー	エクステンジストレッチ	1 式	

	ヤーTC4080-S 抗菌マットレス (モデル50) サイドアームリリースリン ケージシステム サイドアームプレート ガートル架キット バイオセーフストラップ (患者固定ベルト) 1Pメタルバック 枕	2個  1式  1式  4本  1個	
サブストレッチャー	スクープストレッチャー ファーノワシントンスクープエクセル モデル65EXLピン付タイプ	1式	
ヘッドイモビライザー	スクープ用 モデル445-SP	1組	
スクープストレッチャー収納装置	患者室	1式	
バックボード収納装置	患者室	1式	

#### 7 気道確保用装備

品名	規格等	数量	備考
人工呼吸器	バッグバルブマスク (成人用) (アンブ蘇生バッグマークIV) バッグバルブマスク (ベビー 用) (アンブ蘇生バッグマークIV)	2個  1個	マスク大小各2個含む リザーバー付き
電動式吸引器	レールダルLSU4000 標準付属品一式 予備バッテリー (1個)	1式	
吸引器固定用ブラケット		1式	取付け金具含む
吸引カテーテル設備	予備カテーテル収納設備 使用中カテーテル保持設備	各1個	取付け金具含む
経口エアウェイ	バーマン氏 40mm、50mm、60mm 70mm、80mm 90mm	各2個	

## 8 酸素吸入設備・酸素ポンベ

品名	規格等	数量	備考
酸素ポンベ固定装置		1 式	取付け金具含む
酸素吸入器	オキシパック OX-III S または同等品 二連式加湿流量計 減圧弁 SAヨーク型 10リットルアルミポンベ 延長ゴム管バルブ用金具	1 式    2 本	
2リットル型アルミ酸素ポンベ	アルミポンベ 減圧弁含む	2 本	流量計付き減圧弁ヨーク式1個付き

## 9 電装品（車両）

品名	規格等	数量	備考
外部コンセント	運転席右側	1 式	接続コード10メートル含む
スターターカット機能		1 式	
エアコン	メーカー標準 運転席、患者室エアコンクーラー及びヒーター付き	1 式	
DC-ACインバーター	正弦波300W以上	1 式	
DC-ACコンセント	2箇所以上 銘板表示	1 式	

## 10 塗装・車体標識等

品名	規格等	数量	備考
塗装・車体標識		1 式	

## 11 消防救急デジタル無線機及びAVM並びに携帯電話

品名	規格等	数量	備考
各種移設		1 式	
隊員席スピーカース送受話器		1 式	

## 12 車両用付属品

品名	規格等	数量	備考
標準工具	標準仕様	1 式	
スペアタイヤ	装備品同等品	1 式	
スタッドレスタイヤ	冬季用 ホイール付属4本	1 式	
タイヤチェーン	樹脂製	1 式	

けん引用布製ロープ		1式	
停止表示板		1式	
フロアーマット	標準仕様	1式	
車輪止め	ゴム製又は樹脂製	1式	
愛車セット		1式	
予備ヒューズ		1式	
補修用ペン		1式	
デジタルカメラ	オリンパス STYLUS Tough TG-7 または同等品	1式	カメラケース含む
携帯サーチライト	ストリームライト サバイバーピボット (イエロー) 乾電池モデル	2個	
体温計	電子式体温計 テルモC206	2個	
プラズマクラスターイオン発生装置	車載用	1個	車内消毒用
消毒用資器材	小型オゾン発生器・消毒器 EFD-200N	1式	患者室内の除菌・脱臭
自動車用テスター	KU-2600	1式	多機能テスター